そうじの力だより

VOL.252

支援レポート

環境整備に終わりなし
～より良くするマインドが企業風土になる～

福井県鯖江市の(有)ファイン。社員一〇人の特殊印刷業の会社です。

同社では一五年前から、弊社のお手伝いにより、環境整備(整理・整頓・清掃)の取り組みが続けられています。

活動を始める前は、工場内が手狭で、通路もまともに確保できないような状況でした。床面や機械表面、作業テーブルの天板には、インクが無数に飛び散り、固着していました。

藤井高大社長の肝煎りで始まった環境整備ですが、当初の社員たちの反応は、「そんな立派なことはできない」「そうじをするくらいなら、仕事をしたい」というような消極的なものでした。

しかし、活動を進めていく中で、ある時にムードメーカーの女性社員が、「どうせやらなあかんのやから、楽しくやろうや！」と声を上げたのです。

それを契機にして、同社の環境整備にエンジンがかかります。

以前は毎日一〇分間だった朝のそうじは三〇分間に拡大されました。毎月一回、半日生産を止めて、全員で大掛かりな改善を行っています。月末には、周辺地域のゴミ拾いも続けています。床面や擁壁などは、自分たちで楽しみながら、DIYで塗り直しています。

毎月の地域清掃で用水路のゴミを拾う

おかげさまで、工場内は無駄な物がなく整然として、蛍光灯が眩しく照り返すほどピカピカになっています。

ピカピカに磨き上げられた現在の工場内

また、毎年一回、外部の方を招いて環境整備の見学会も実施。この会を実施することは、社員たちにとって大きなモチベーションになっています。

先日、半年ぶりに、研修を行うために同社を訪れました。

今回の研修では、全員を三班に分けたうえで、社内各所をじっくりと見て回り、要改善点をリストアップしてもらいました。

社内を巡回し要改善点を見つける

皆さん、予想以上にたくさんの事柄をリストアップしてくれました。

- 印刷機の説明文が付箋なのでラミネートする。
- 印刷機の内部に汚れが溜まっているので、清掃する。
- 版棚の引き出しの隙間にホコリが溜まっているので清掃する。
- ノコギリを買い替えたために姿絵が合っていないので直す。
- 彫刻機周辺の表示と標識が不十分なので追加する。
- 商品サンプルがきちんと管理されていないので方法を考える。
- 表示と標識のテプラを色分けするとよいのではないか。
- 眩しさ軽減と紫外線防止のために窓に遮光フィルムを貼る。
- 製品台車に通し番号を振る。
- 倉庫にストックしてあるシンナーが床に直置きされているので、台車などに載せたうえで定位置化する。
- 社長室の社長のイスの後ろにある茶色い袋は何か？不要ならば捨てるべき。
- 駐車場のラインが剥げてきているので塗り直す。

などなど。

リストアップされた項目を見て、今期の環境整備リーダーとサブリーダーは、「これで今期の活動計画が埋まる。実は改善のネタに困っていた。」と喜んでいます。

同社は、弊社の支援先の中で、お世辞抜きにナンバーワンの環境整備が行き届いた企業です。

そんな同社でも、「改善しよう」という意欲をもって見て回れば、要改善点は思い浮かぶものなのです。

同社の、物事を「常により良くしよう」というマインドは、既に社風に昇華しており、当然ながら、製品作りにも反映されています。

(有)ファインの環境整備は、今後も進化・深化を続けていきます。（小早）

DIYで塗り直した後の会社入口の擁壁

劣化と汚れが目立つ会社入口の擁壁

企業・団体の研修や講演を承ります。目的や対象者に応じて、時間や内容をカスタマイズできます。まずはホームページをご覧ください。

このニュースレターは、転送、引用、大歓迎です！その際には、出典を明記していただけるとありがたいです。

X（旧ツイッター）で、『環境整備 一日一言』を毎日更新しています。ぜひフォローしてみてください！

今月の読書から

『ツキを呼び込む究極の成功思考』西田文郎著
～使命感を持って仕事に挑め～

30歳代の頃、いろいろなことに行き詰まった時、何かのキッカケで西田文郎氏の本を読み、「自分の思考次第で人生は変わるんだ！」と大いに感激して、その後実践に努めた記憶があります。

そんな西田文郎氏の古典的名作の新装版が出されたということで、あらためて読んでみました。

若い頃に読んだ時とは違う面が心に突き刺さるもので、その分だけ自分が成長できたのかな、と思ったりします。

《タイミングを逃さないことは、ビジネスにおいて特に大切なことだ。たとえば、せっかく良いプランやアイデアを持っていても、行動に移してカタチにしなければ、そんなものはまったく無意味なのだ。（中略）どんな人間でも、それなりの考えやアイデアは持っている。ただ、ほとんどの人がそれを行動に移せず、カタチにできないままでいる。なぜなら、実際にやってみることは、思いつくことよりも何倍も難しいからだ。自分が本当に良いアイデアだと思うなら、躊躇するな！まず行動しろ！ほかに抜きん出るためには、まず、「やってみる」ことが大切なのだ。》

《地球上のすべての生物はいつか必ず死を迎えるときが来る。私たち人間ももちろんそうだ。しかし、同じ死を迎えても、人間だけはほかの生物と違うところがある。それが何かというと、それは影響力だ。人間だけは、死後もその人の考え方や理念が、その後の人々に引き継がれる。（中略）だから私たち人間は、一生懸命に己の役割を果たさなければならない。「世のため」「人のため」になるような強い信念を持って、人生を生き抜かなければならないのだ。信念を持ち、覚悟して生きろ！》

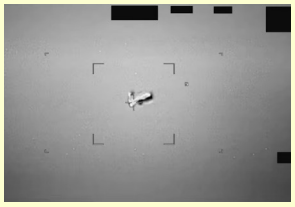
《鹿児島の知覧基地から飛び立った特攻隊の遺書を読むと、皆、死を目の前にして、親や妻に感謝の気持ちをしたためている。誰も敵に対する憎しみなどは書いていない。彼らは敵を倒すためではなく、愛する人のために戦ったのだ。（中略）誰かのために戦う使命を見つけると、人間にはとてつもないエネルギーがわいてくる。仕事でも人生でも同じ。自分の欲を満たすだけの戦いや不満から発した戦いは、勝っても自分が嬉しいだけ。しかし、愛する人と幸せを共有するために戦おうとすると、人はより強く、勇敢になれる。これが自己改革という奇跡なのだ。つまり「人を喜ばせる幸せ」を目的とした戦いだけが、人生の勝利をおさめるのだ。》

《人間は誰もが多くの人々とともに生きている。社会や会社があって初めて自分がある。これを忘れて、自分だけの力で成功したと思っている人は、感謝ができていない人間だ。（中略）今、あなたがこの世に存在しているのは先祖のおかげだ。日々充実した生活を送れるのは、仕事やお金や周りの人々のおかげである。これを胸に刻み、自分を支えてくれる家族、仕事、会社、上司、同僚、お金など、すべてのものに感謝する心を持ってほしい。これこそが成功に近づく道なのだ。》

シンプルで大切な教訓ですね。（小早）

編集後記

ついに公開！



トランプ氏の指示により、アメリカ政府が、これまで機密にしていたUFO（最近はUAPと言うらしい）の情報を公開しました。

米国防総省のホームページにアップされている写真や動画を見てみると、確かに、常識では考えられない動きをする物体が確認できます。

それが何なのかはわかりませんが、米政府がその存在を公に認めたということ自体が、大きな衝撃です。

UFOはもはやオカルトではありません。あなたもぜひご自身の目で国防総省HPを見てみてください。　（小早）

飛鳥のつぶやき

金魚とコンプラ

長男と浅草に出かけると、なんと珍しい「金魚すくい」の店が！

昨今夏祭りの出店でも、「スーパーボールすくい」など、生き物の扱いがほとんどなくなり、ゲームセンターの躯体でしか金魚すくいをやったことがない長男、本物に初挑戦。かなり強いポイだったので、5匹も穫れ大満足の様子（金魚はリリース）。

今思えば、夜店でミドリガメやらヒヨコが売られていた時代、とんでもなかったなぁ…。コンプライアンスが「文化」になるのは時間がかかるものですね。　（大槻）

株式会社そうじの力

そうじで組織と人を磨くコンサルティング

弊社は“そうじ＝整理・整頓・清掃”を通じた企業風土改革を支援します。

現場巡回、講義、実習、チームミーティング、計画作りを通じて、社長と社員の意識改革を図り、健全な企業風土作りをお手伝いします。

支援期間は1年から。毎月1回訪問を原則としますが、企業規模や現場の状況、ご要望に応じて、プログラムをオーダーメイドします。

また各種団体向けの講演のご依頼も受け付けております。（全国対応）

そうじの力だより第252号　2026(令和8)年7月1日発行　発行者：小早 祥一郎（株式会社そうじの力 代表取締役）
〒370-0078 群馬県高崎市上小鳥町307-1 TEL：050-3709-2333 FAX：050-6868-2721 メール：info@soujinochikara.com

このニュースレターは、転送、引用、大歓迎です！その際には、出典を明記していただけるとありがたいです。